

# 令和4年度とくしま流域水懇談会 開催結果

(南部) 日時：令和5年2月14日(火) 18時～19時

場所：南部総合県民局阿南庁舎

(西部) 日時：令和5年2月16日(木) 18時～18時45分

場所：西部総合県民局美馬庁舎

(東部) 日時：令和5年2月17日(金) 18時～20時

場所：東部県土整備局徳島庁舎

## 【概要】

令和4年度とくしま流域水懇談会では、とくしま流域水管理行動計画について、今年度までに策定した計画の取組状況や新たに策定した計画(明連川・坂本川)、各流域区分のとりまとめ(吉野川下流域・那賀川流域)について委員に報告し、意見を伺うとともに、今後も本計画を推進していくことを確認しました。

## 【意見要旨】

(南部)

- ・策定済みの行動計画を継続するのではなく、改修が必要な河川に目を向けてほしい。
- ・地域が一丸となり取り組んでいくために、まずは県から地元呼びかけてほしい。
- ・危険度が高いところや住民が困っているところから優先的に取り組んでほしい。
- ・十八女地区には堤防がないため、計画策定に取り組んでほしい。
- ・防災講座や訓練を実施する際は、地域ごとの背景に合わせた内容に変えるべき。
- ・子どもに焦点をあてた取組を継続してほしい。
- ・ファミリータイムラインなどは、これまでの地震対策等とは別の視点からの取組であるため、子どもだけでなく大人へも焦点をあてた取組を推進するべき。
- ・環境と防災、両方を組み合わせるソフト面での教育が現在求められているのでは。
- ・現場を確認しながら説明いただいた方が分かりやすい。
- ・防災士会向けの河川専門の講義について、実施を検討してほしい。
- ・子どもだけでなく大人も、住んでいる地域に関わらず勉強していくべき。
- ・想定外のことに対処できるよう、官民協力して取組を推進していくべき。

(西部)

- ・明連川流域については、2つの河川に挟まれていたため、藍産業で発展し、町おこしにつながった歴史もあることから、水教育の面を絡めていくとよいのではないかと。
- ・新型コロナウイルスの影響もあると思うが、環境学習等の取組は継続してほしい。
- ・子どもを対象とした現在の取組を更に推進してほしい。
- ・取組を進めることも重要だが、周知の部分に課題があるように感じる。
- ・計画の参画団体について、子育て世代に参加していただくなど、幅広い世代に呼びかけてほしい。
- ・環境学習は子どもが参加しているが、そこから親子で参加してもらうような取組に展開していくことが重要。

(東部)

- ・地域の清掃活動等に人を集めるためには、行政による広報なども必要。
- ・江川では生活排水の影響でヘドロや雑草が増えているため、県と市で活動と呼びかけてほしい。
- ・江川は雑草により流れが悪いため、少しずつでも対応してほしい。
- ・坂本川の計画では、漂流しているゴミの撤去作業を組み込むことで、より地域の方が河川に関心を持つようになるのではないか。
- ・子どもたちの意識の醸成を推進するような取組を継続してほしい。
- ・正法寺川に魚道が設置されることは魅力的。
- ・新池川にも魚道があればよいと思う。
- ・生名谷川で舟下りを実施するにあたり水位が低いため、水位を確保できるような対応をお願いしたい。
- ・徳島河川国道事務所が発行している吉野川の資料は勉強になるため、参考としてほしい。
- ・流域区分のとりまとめは、興味のある学校の教職員等にとっては非常に分かりやすく、良い資料である。
- ・環境学習について、継続して取り組むことが重要であるため、小学生だけでなく、中学生、高校生を対象としても良いのではないか。